

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2020年6月号(第66号)



牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」【ルカの福音書 22 章 43 節】

緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常が戻りつつあります。しかし、第二波、第三波が予想される中ですから、本当の意味で終息したと言える状況ではありません。いつになったら以前と同じような暮らしが戻るのかと不安に感じている方もおられるかもしれません。とりわけ、この新型コロナウイルスは私たちの「いのち」と直結する問題であり、著名人の訃報を聞くにつけ、不安を覚えた方も多いのではないかと思います。私たちは、いのちと向きあわされることになりました。しかし、これは非常に大切なことであり、意味のあることだと思います。仮に私たちが新型コロナウイルスに感染せずとも、他の病や事故によっていのちを落とすこともあるわけですから、私たちは自分のいのちについて考え、その上

で確かな希望を握ることが大切です。

そのような中であって、聖書は私たちに希望を語ります。人はこの地上で終わることなく死後のいのちがあり、それこそが本当に大切なものだと語りかけます。今月の聖書のことばは、イエス様が十字架上で発せられたことばです。イエス様は十字架に架けられましたが、その両隣には二人の犯罪者も十字架につけられていました。この二人は正真正銘の犯罪者であったのですが、そのうちの一人はイエス様に向かって「おまえはキリストではないか。自分とおれたちを救え」と言いました。しかし、もう一人の犯罪者は十字架上で回心して次のように言いました。「おまえは神を恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。おれたちは、自分のしたことの報いを受け

ているのだから当たり前だ。だがこの方は、悪いことは何もしていない。」そして、イエス様に向かって「イエス様。あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください。」と言いました。このことばを受けて、イエス様は今月の聖書のことばにあるように告げられました。「まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」聖書は、パラダイスがどのような場所なのか具体的なことは語っていませんが、そこにはイエス様が共にいてくださるのです。この犯罪者がイエス様のことをどれだけ知っていたのか分かりません。おそらく十字架に架かるまでイエス様と会って話したことはなかったはずですが、しかし、彼は十字架上でイエス様と出会い、心を変えられました。彼はまさか犯罪者である自分がパラダイスに行けるなどと考えていませんから、「あなたが御国に入られるときには、私を思い出してください」と言いました。しかし、イエス様はなんとパラダイスとともにいるという約束を下さいまし

～集会案内～

○日曜日：第一礼拝 9:00～ 第二礼拝 11:00～ ○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
教会学校 10:00～10:40（子どもから大人まで） 19:30～21:00
○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00（休止中。子育てなどを行っている方のための集い）

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。

た。しかも、“今日”です。十字架上にいるイエス様と回心した犯罪者のこの世でのいのちは長くありません。しかし、死んで終わりではなくパラダイスがあって、そこでイエス様と共にいることができるという希望が宣言されました。この希望のことばは、今も響き続けています。聖書は、死で終わることのない希望を語り、イエス様と共にある平安を伝えています。新型コロナウイルスによって私たちはいのちと向きあわされています。このような状況にある私たちには、聖書が語る希望が必要ではないでしょうか。聖書の素晴らしいところは、犯罪者であっても悔い改めるならば救いが用意されていることです。誰もが招かれています。ぜひこの招きに応答してください。

◆コラム

緊急事態宣言が解除され、私の大好きなプロ野球の開幕が決まりました。しかし、いつ第二波が来るのか分からない状況の中で、どうしても私たちの生活は慎重になります。教会もしばらくの間は礼拝を二回に分けて行うことを決定しました。第一礼拝は9時から、第二礼拝は11時からです。いつまでこの措置を続けるかは分かりませんが、神様が憐れんでくださることを祈るのみです。教会ではどんな状況にあっても救いの希望を語り、永遠のいのちの希望を伝え続けます。